



健脳給食京都きらら学園をのぞいてみたよ!

「いただきま～す」のかけ声で
給食タイムがスタート♪
カレーやシチューじゃないけれど
健脳給食っておいしいよ!



脱・肉 中心の食生活!
「京都幼稚教室」が開設する全
日制保育クラス「京都きらら学
園」。国立や有名私立小学校の
対策講座でも知られ、はるばる
遠方から子どもを預ける親が後
を絶たない名門だ。ここでは1
990年の開設以来、和食中心
の健脳給食を実践している。
給食のごはんは5分づきの玄
米と麦を7・3の割合で混ぜた
かみごたえ十分のもの。1ヶ月
間ほぼ毎日、大豆や海藻、野菜
を中心としたメニューが続く。
「最近のお子さんは家でたっぷ
りお肉を食べています。しかし
その結果、この10年で落ちか
ないう子や気の荒い子が増えた気
がしますね」と語るのは園長の
熊本マリ子先生。家での食事は
なるべく魚や豆を中心にするよ
う、お母さんたちに声をかけて
いる。

体ができれば脳も しつかり活動する!

「私たちの考える『健脳』とは、

まず姿勢を保つこと。カルシウムが不足すると姿勢が保てず、人の話もきちんと聞けなくなります。学習の前に体力づくり。そのため、和食中心の食生活が欠かせないんです」

きらら学園の給食費は、公立小学校の約2倍以上。それでも和食中心の給食を続けることは変わらないそう。「子どもたちが変わっていく姿を見て、お母さんたちも理解してくれる。それだけ、目に見える変化がある」ということなんですね」

- 1 1才児クラス「つくし組」の英語の授業風景。午前中にリズム遊び、乾布摩擦、歌、プリント学習などを次々こなしていく。
- 2 「学習の前に体力づくり」と熊本先生。給食の前に脳と体をフルに使うことで、好き嫌いなく、残さず食べられるようになるのだとか。
- 3 この日の給食は、わかめごはん、高野豆腐煮、はうれんそのおひたし、具だくさんみそ汁。これにフルーツがつく。
- 4 庭に野菜を植え、収穫して給食やおやつに利用することも。
- 5 おやつとして毎日出るのがいりご10匹。かりんとうや昆布、さきいかなども定番のおやつメニュー。
- 6 お昼の12時過ぎ。午前中めいっぱい活動するので、給食を食べ終わるころにはウトウトし始める子どもも。



お話を
京都きらら学園・
京都幼稚教室 代表
熊本マリ子さん